



民商はいろいろな人の集まり！で今回はユニークな人！特集

## 表現する男 杉山 まさしさん



新人賞佳作

「小説家の杉山さん」と他の事務局に紹介したんだけど、のっけから「いえ、私は小説家というより絵... etc... etc...」なんてらかんたら否定され、「え？何言っちゃってるの？」とちょっとめんどくさいひとかも、とと思ってしまった。

『杉山まさし』というこの男、小説5作品読ませていただいた。難読漢字の多用に豊富な語彙、過去と現在が交錯する独特な手法...

こどもの頃からさぞかし読書家、と思ったら全く違った。安行とか見沼でざりがに釣ったりクワガタ捕まえたりが好きな、本嫌いのこどもだったらしい。



杉山 まさしさん(安行支部)

・日本美術協会会員  
・民主文学会会員  
北海道斜里町生まれの鳩ヶ谷育ち  
→現在栃木県野木町在住

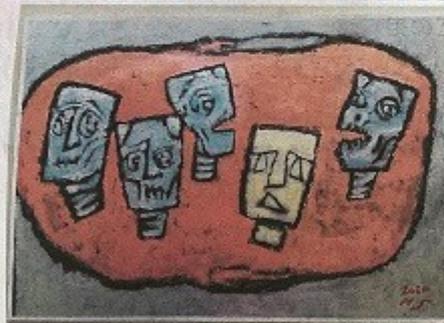
### 好きな作家

- ・コナンドイル ・クリスティー
- ・コリン・デクスター ・松本清張
- ・五味川純平 etc... etc...

(大人になってから読み返すと、また違った味わいがあるらしい。...)

### 趣味

- ・剣道 ・車
- ・煙草はパイプでもやるらしい。



タイトル『同調圧力』



タイトル『三人』

目覚めたのは高校時代。一時間くらいかかる通学時間を持って余して「じゃ、本でも読むか」『好きな本はなんべんも読む癖があって、5、6回読みます。そのたびに新鮮な発見がある。言葉の使い方なんかは松本清張を手本にしました。』

大学では法学部だったのになぜか民主文学会の支部の立ち上げに関わったそう。で、仲間同士も会うと、文学の話で盛り上がる。30代に入って、『作家旭瓜(ひのつめ)あかね氏』に声をかけてもらったのをきっかけに「書いてみようか」と。

『杉山さん、絵ってなに？最初に言ってたでしょ？小説というより絵って。』

『30代の頃、日本美術協会の会員になりました。高校の時写真部で。なんでしょうね、何かを創る、ということが好きなんです。その中でもやはり自分の中では絵なんです。写真も小説も絵のために、という感じ。』

なんにでも興味を持つという杉山さん。

『社会情勢から下世話な話まで』らしいですよ。

30代の頃ある老画家に言われたそうです。『杉山くん、若いんだからお金と時間を使って遊びなさい』今や50代の杉山さん、そのライフスタイルを貫き通すおつもり。

『そこそこ金を稼ぎ、絵を描き、小説を書く。車の運転を楽しみ、パイプをくゆらせる。いろいろなものを見て、聞いて、さまざま人とふれ合う！こういう生活が好きなんです。家庭を持ったらなかなかそうはいかないですよ。』

杉山さん、『独身男性の希望の星』と笠原事務局員、目をキラキラさせていましたよ。

お父様が鳩ヶ谷の民商会員だったとのことで、いわゆる二世会員。

『困った時、頭に浮かぶのは民商なんです。助けられます。旅行とか機会があったらぜひ参加したいですね』

お待ちしております♡

### 取材を終えて

気が付けば2時間半、しゃべりまくって聞きまくってあっという間だった。あー楽しかった。めんどくさいひとかも、なんて最初に思っちゃってごめんね！